令和4年度 学校評価アンケートの集計結果報告



児童アンケート

\bullet No.1

本校では国語科に重点をおき、主体的・対話的な活動を中心に授業を進めてきた。児童の回答からも、話し合うことで問題解決するよさや、友達の意見を聞いて学びが深まるよさを実感していることがうかがえる。

■No.4.5.6.12.13

9割以上の児童が異学年も含め友達との関わりについて肯定的に考えている。残りの児童の思いにも寄り添い、今後も「豊かな心」を育む活動を継続する。

●No.14

16%の児童が「友達とのことで困ったことを話したり、誰かに相談したりして解決できていない。」と回答している。年3回のアンケートや面談を継続して 実施し、より職員が児童の困り感を把握し対処できるように努める。

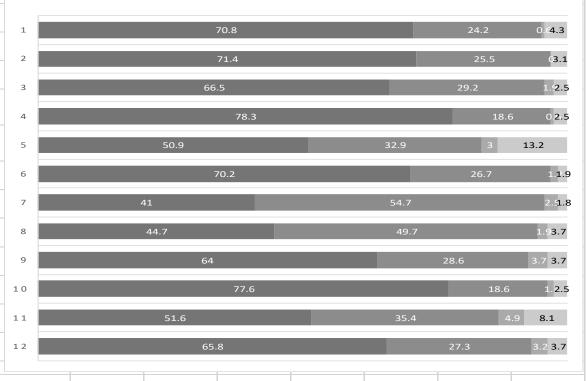
●No.8.9.10

多くの児童が学校での運動を楽しんで行っていると回答している。長縄大会やロング昼休みなど継続して取り組みを続けていく。また、食事に関しても肯定 的な回答が多く、現在の取り組みを今後も継続して行う。

学校アンケート~保護者集計~ No 項目 学校は、学校教育目標や合言葉「元気いっぱいやさしさいっぱい笑顔いっぱい心か がやく笹小キッズ」に向けた教育活動を計画・実践している。 学校は、子どもが自分の考えを表現したり、話し合ったりする学習をつくりだしてい 学校は、体育の授業やロング昼休み、長縄集会等で、楽しみながら体力向上に向か う取組を行っている。 学校は、学級活動やにこにこペア学年活動を通して、子どもが相手意識をもったり 自信をもって活動したりできるように、取り組んでいる。 学校は、支援の必要な児童に対して、TT指導(複数教員による指導)や特別支援 教室、個に応じた支援等を行い学習や生活上の課題に向けて取り組んでいる。 6 学校は、子どもや保護者の思いを受け、丁寧に対応している。 7 家庭では、子どもが家庭学習に意欲的に取り組めるように、声を掛けている。 8 家庭では、お子さんがよりよい食生活を実践できるような取組を行っている。 9 お子さんは、友達と安心して学校生活を送っている。 お子さんは、にこにこペア学年活動、運動会、ミニスクールコンサートなどで、やり遂 げた達成感や協力する楽しさなどを感じている。 お子さんは、友達のことで困ったことは、話をしたり誰かに相談したりして、解決でき ている。 12 お子さんは、自分や友達のよさや大切さを感じている。

学校アンケート 保護者集計

■ そう思う ■ ややそう思う ■ そう思わない ■ わからない



保護者アンケート

●No.2

肯定的なご意見が多く、本校としては学校目標や合言葉を意識し日々の取組ができていると感じる。この活動を継続してゆきたい。

●No.11

設問に対し、「そう思わない」を選択した保護者の方の数が 4.9%と他の設問に比べ多くなっている。年 3 回の「学校生活に関するアンケート」を継続していくとともに、児童や保護者との面談を通して困り事や問題を把握し、対応していく。また、社会的スキルを高める活動の中で「SOS の出し方教育プログラム」を年 1 回以上実施している。それを通し、困ったときに周りの友達や大人に相談する力、相談を受けた時にどうするかなどのコミュニケーション力を高める活動を引き続き行う。

\bullet No.3

9割以上の保護者の方から肯定的な回答をいただいた。今後も体力向上プログラムを継続して行う。